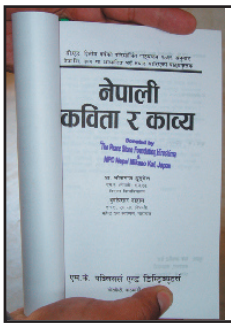


特定非営利活動法人

平成 24 年 新春号　NO, 4 6

http://nepai-mika.jp
mika@ssr.co.jp

ネパール・ミカの会

平成２4 年 1 月 20 日発行 194-0035 東京都町田市忠生 2-5-36　tel042-791-0602

「笑顔あふれる一年となりますように」

NPO 法人ネパール・ミカの会
理事長　齋藤　謹也

本年もよろしくお願い致します。
さて、昨年創立 15 周年記念式典を行いましたが、幸い多くの方々より祝福のお言葉を頂いて、あらためて、今後の進むべき道を考えているところです。
さて、2012 年は、一体どんな年となるのでしょうか。私達はネパールの子供たちの無垢な笑顔から元気、勇気、やる気をもらっていますが、これに根気を加えて、仲良く、一歩でも、半歩でもすすめたら幸いです。あたり前の得難さ、無事の幸せをかみしめながら、会員一同歩みをすすめましょう。

ところで、昨年春の大震災を受け、本年の支援の旅をどのようにすべきかを協議しました。
その結果

1. 私達を待っていてくれるルンビニの子供たちと本年も 3 月に会いに行きましょう。

2. しかしながら、本年の支援旅行は例年とは一味も二味もちがったものにして、「慰霊」の意味を持たせましょう。

3. その為、本年は釈迦生誕地の教育支援を続けている私達らしくインド・デリーから入り、佛蹟参拝をしながらネパールに入国して、ルンビニで法要を行いましょう。

そこで、私達の支援している学校 (小・中・高) の生徒たちの中から 500 名くらいの参加を得て慰霊し、そこにはルンビニ聖地公園に建立されている佛教寺院から各国僧侶の参加を得て行えるようにして、意義あるものにしたい。

おおよそそんなことを考えて、第 15 次教育支援の旅を計画しています。参加出来る方も、出来ない方も 3 月 11 日を中心として、祈りを捧げながら、なお教育支援の意味を考えていきたいものです。

「創立 15 周年記念式典によせて」

副理事長　今村　旭

平成 23 年 11 月 19 日 (土) 午後 6 時から、創立 15 周年記念式典の会がラポール・千寿閣において行われました。

実行委員長の開会の言葉に続いて、斉藤謹也理事長の挨拶が述べられた。

1996 年 8 月の 6 名のネパール旅行の際、通りがかった雨漏りのするルンビニ地区のマホマディア小学校の状況の説明に始まり、現在は現地理事として活躍しているヌルブ・ラマ氏との出会いついて。
当時、ラマ氏はルンビニ開発公社の政府派遣職員であった。雨漏り校舎の修復を行い、これを見事に全員で完成させた。

これが契機となりラマ氏とのその後の繋がりが生まれ、ルンビニ地区の教育支援へと進んでいき、地元との結びつきとなった。
その後、15 年の間に 15 の小学校校舎の建設と、いくつかの図書館の建設支援へと発展した。そんなことを通じて多数の支援が今も続き、今後、教育支援をますます前へ進めて参りたいと考えている、との挨拶があった。

次いで、来賓の挨拶となり、社団法人、日本ネパール協会会長の小嶋光昭氏、町田市議会議長の川畑一隆氏の両氏よりそれぞれ祝辞をいただいた。

次いで、加藤誠一理事による「15 年のあゆみ」の投影とそれぞれの場面での関わった会員が交代で説明にあたった。

この記念式典の場で、今までに会を支援してくださった方々や団体に感謝状の贈呈となり、各々の功績をたたえた。

計画，設営にご協力を頂き，心より御礼申し上げます。

「創立 15 周年記念式典を終えて」

松瀬 隆司

この度は創立 15 周年記念式典の実行委員を経験させて頂き、この場をお借りしまして御礼を申し上げます。
実行委員としましては、多くの方々にご参加を頂きました事を嬉しく思いますし、無事に終わった事、皆様へ感謝いたします。

式典につきましては、大谷さん、加藤さんに作成して頂いた「15 年のあゆみ」投影が印象に残っております。写真でこの 5 年間を振り返るだけでなく、5 人のパネリストによる思い入れのある解説により内容がより良いものなったと思いました。

懇親会では拙い司会進行、失礼いたしました。記念式典の司会をして下さった七川さんがあまりにもお上手なので、緊張が倍増してしまいました。そんな緊張もオカリナ演奏による癒し系の音が吹き飛ばしてくれました。

さて、20 周年に向けて今後は、大震災で被災された方々の悲しみにそっと寄り添いながら、本来の活動であるネパールの子供たちへの教育支援を続けて行きたいと思います。
次回の第 15 次教育支援の旅は、仏遺跡を巡るインド経由です。とても魅力的な内容ですね。私は大学 3 年の夏にベナレスで沐浴し、ブッダガヤの菩提樹の下に長時間座り込んでみたりしました。インドではもう一度、タンドリーチキンを食べたいです。

設営・司会と大活躍の松瀬理事

ミカの会デビュー 「オカリナ三人娘」

NPO 法人　ネパール・ミカの会創立 15 周年記念式典

ご来賓の小嶋光昭日ネ協会会長（左）　川畑一隆町田市議会議長　（中央）　創立 15 周年のあゆみ

10 周年記念式典以降、又は継続して支援してくださった方々や団体にささやかですが、感謝状の贈呈を行い感謝の意を表しました。

◎国際ソロプチミスト町田さつき殿 : 図書支援・制服支援
◎四ッ葉会殿 : 図書館建設・図書支援
◎ヌルブ・ラマ殿 : 現地責任者として貢献
◎株式会社リコー殿 : コピー機他の支援
◎栄通りフェスタ実行委員長殿 : 出店協力
◎パークアベニュー商店会会長殿 : 出店協力
◎穂坂桂子殿 : ティナウ小学校舎・図書館建設資金
◎新川恒夫殿 : 寄付金・ルンビニ奨学金提案
◎岩田泰子殿 : 出店協力・式典時各会生花提供　◎加藤宏幸殿 : 制服支援金提供　◎沼野和子殿 : 永年会員
◎青沼義信殿 : 永年会員 役員貢献　◎山内トヨ子 : 出店協力　◎浜崎ヤスエ殿 : 出店協力　◎掛川和子殿 : 出店協力
◎川島京子殿 : バトゥマカニヤ校 椅子寄贈　◎斉藤美江子殿 : 永年会員　◎今村知子殿 : 出店協力

ルンビニ大震災慰霊法要特別志納金のお願い

第 15 次ネパール教育支援の旅で、昨年 3 月 11 日の東日本大震災が起こりました事につき、足元の日本におけるこのような大災害と海外教区支援をどう一致させながら活動をすすめていくか、理事一同、悩みながらこの一年を過ごしてきました。

そこで、今春の教育支援の旅に合わせて、私達が支援しているネパール・ルンビニの聖地公園で慰霊祭を支援校の児童、生徒約 500 名と教員の方々と法要を行いたいと考えています。
又ルンビニ聖地公園にある各国佛教寺院僧侶 (10 名以上) にお願いし、合同法要を行う計画を立てております。
既に会員各位のご協力を得て東日本の被災校に教育支援金をお渡ししておりますが、その残金をルンビニでの法要と子供たちへの学用品などの費用に充てることを理事会で承認されました。

第 15 次ネパール教育支援の旅ではインド佛蹟参拝も行いますので、旅行に参加出来ない方も、少しでも気持ちを届けたいとの話がありましたので同封の振り込み用紙にて特別志納金を受け付けます。

一口 1000 円　より受け付けさせて頂きます。重ねてお願い申し上げます。

「創立 15 周年記念式典に参加して」

ヌルブ・ラマ

2011 年 11 月 10 日から 30 日までミカの会創立 15 周年式典参加のために訪日しました。
香港経由関西国際空港に降り、大阪で 2 泊して、事故のため 2 時間ぐらい遅れた新幹線で東京へ。古淵駅まで迎えに来てくださるようになった和田さんに電話しようと思って駅のホーム辺り公衆電話探しましたが、見つからずそのまま新横浜へ着きました。そこからも電話ができず古淵駅について駅を出てやっと連絡ができました。携帯電話がないと大変だねと感じました。勿論町田に着けば携帯電話も用意してくれているので問題は解消するのですが。

町田についてからは何の問題もなく、外国にいるような感じがしない毎日でした。19 日ミカの会創立 15 周年式典の日、急に天気が悪くなり、雨と風が強い、こんな時は会員の方々や来賓も少ないだろうなあと思っていたのですが、大勢の方々が、お見えになり立派な式典ができました。お忙しいところ、素晴らしい準備していただきました方々やお越しいただきました方々に心より感謝し、御礼を申し上げます。

毎年のように、今回も会員の方々と 1 泊温泉旅行の箱根にはオーストラリアから来た友達も動向しました。
名前は Deepak pathak です。彼は大学生からの友人で 10 年前にカトマンズ日本語学院でもいっしょに日本語の教師していた友人です。彼は会員の皆様と 10 年前からあまり使ってない日本語でお話ができて、その上、皆様にとても親しくして頂き大喜びでした。
町田に来る前５日ほど新宿で宿泊していた友達は皆さんのお陰で本当に日本に来たような感じがしたといって喜んでくれました。

これも長年の皆様との付き合いのお陰です。とても見晴らしの良いところにあるホテルでおいしい料理を食べて、好きな温泉に入って、天気に恵まれ箱根周辺でたくさん写真を撮りながらの快適な旅でした。長安寺の紅葉は特に印象的でした。帰りは加藤さんの案内で私とオーストラリア在住の友人とで小田原城も見学できました。

箱根のたびを終わってから山下さんの案内で富士五湖、加藤さんと斉藤孝さんと紅葉の写真撮影、公園見学、そして味の民芸で名物「皿うどん」を頂きました。特に加藤さんの自宅でのすき焼きパーティーの後のお孫さんの面白い質問ぜめには大笑いでした。

お寺でのもみじ祭り、大倉山スケッチ会展示、成瀬高校の学生ボランティアクラブの学生との交流会など楽しい日々でした。
今回の旅は、いつものように会員の皆様と交流をでき、充実した旅になりました。会長をはじめお世話になりました会員の皆様に心より感謝と敬意を表したいです。ありがとうございました。

Happy New Year 2012.

Shinnen akemasite omedetou gozaimasu. 2011nen wa iroiro arigatou gozaimasu.
Nihon no tabiwa totemo tanoshikatta desu. Iro iro tokoro, mata oishii ryori to omoshiroi koto wo ohiete makotoni arigatou gozaimasu.

I do hope that you have been taking so beautiful pictures there. i did have a look at your blogs website and even found my picture there along with Lamasan. Sono toki wo omoidashite mata itsuka Nihon e ikitai to omotte imasu.
Please convey my warm rememberance to the lovely grand children of yours. They are so beautiful.

Wishing you the very best of your health,
Deepak pathak
Sydney

シリ・シッダルタ小中校の子供たちに学ぶ喜びを伝えたい・・・

「シリ・シッダルタ小中校増設支援事業」

第二期スポンサー募集

募集期間　平成23年11月1日 ～ 平成24年5月31日

募金目標 ： 100万円

一口金額 ： 2，000円

工事目標 ： 3教室を完成させます。

【正式学校名】
「シリ・シッダルタ　バール　ニケタン
ケダル　バンデ　小中校」

【生徒総数】
男子　187名　女子　250名　合計　437名
（2009年現在）

【増設目標】
既存校5教室に3教室を増設します。

【総工費】　220万円（事業運営費を含む）

【現況】
第一期工事完了によって校舎基礎が完成済。
残り3教室を第二期工事によって完成させて

ネパールでは多くの子供が
木の下で勉強をしています。

既存の校舎は老朽化が進み、
教室では[illegible]されています。

【シリ・シッダルタ小中校とは】

インドとの玄関口、バイラワの街からルンビニ公園に向かう街道沿いにシッダルタ小中校はあります。生徒数は437名いますが、既存の5教室では足りず、隣接する村の集会場を教室がわりに使っています。街から遠いため周辺にはまだ多くの未就学の子供たちがいますが、現状の教室数では新たな受け入れができません。

校長であるミラス氏は、村の子供たちの就学率と学力を向上させることで、子供たちが将来、街で立派に働けるようにしたいと熱心に語り、村の人々の協力を募って数年後には高校を作る計画を立てています。

そこでミカの会では「手から手へ」という理念のもと、地道な募金活動によって、シッダルタ小中校の就学率向上のために新たに3教室を増設支援します。

シリ・シッダルタ　小中校　校長
ラム　ナエン　ミラス　氏

特定非営利活動法人　ネパール・ミカの会
東京都町田市忠生2-6-36　こもれび館内
TEL 042-791-0602 FAX 042-789-7358
理事長 [illegible]

★詳しい話を聞きたい方はこちらへ★
ネパール・ミカの会　事務局
事務局長　[illegible]
TEL　/FAX042-726-1762
URL：http://www.nepal-mika.jp

校舎増設支援スポンサーにご協力いただける方はご連絡をご覧ください

NPO法人 ネパール・ミカの会

シリ・シッダルタ校舎建設 第二期支援ご協力のお願い

第二期スポンサー募集

「ゆっくりと、ささやかに、心を込めて手から手へ」

ネパール・ミカの会のモットーであるその原点に立ち返り、会員 1 人ひとりの募金活動によってネパールに校舎を造ろう！そのような想いから平成 22 年 5 月よりネパール・ルンビニ地区にある「シリ・シッダルタ小中校」へ 3 教室を増設するための 3 カ年プロジェクトを始動いたしました。

会員の皆さまのご尽力によって第一期 (平成 22 年 5 月 ~ 平成 23 年 3 月) は目標金額であった 100 万円を大きく上回る 1,174,000 円の募金が集まり、シッダルタ小中校には校舎 3 教室分の基礎が完成いたしました。

いよいよ校舎本体建設のための第二期募集活動を始めようと計画を立てていた矢先の平成 23 年 3 月 11 日。

1,000 年に一度とも言われる東日本大震災が日本を襲い各地に多くの爪跡を残していきました。私たちネパール・ミカの会はネパールの子供たちの未来のために様々な形の学業支援を行ってきましたが、子供たちの未来が明るいものであって欲しいと願う気持ちはネパールの子供たちであっても日本の子供たちであっても同じであるという想いから「東日本大震災支援募金」を開始し、会員の所縁のある被災地の小中学校へ学用品を購入するための資金を直接手渡しによって届けてきました。

これに伴いシッダルタ支援プロジェクトの第二期募集は震災の状況を判断してから再開をするということで延期となっていました。

震災から 10 ヶ月が経過し、未だに被災地では懸命の復興作業が続けられておりますが、ネパール・ミカの会の 15 周年記念式典に出席するためにネパールより来日したヌルブ・ラマ理事からシッダルタ小中校の子供たち、そして校長をはじめ職員のみなさんが校舎の完成をとても待ち遠しく思っているという報告を受け、さらに 3 カ年という歳月は子供にとってみれば 1 年生が 4 年生へと大きく成長を遂げる時期であるということを考えると早く校舎を完成させて 1 人でも多くの子供たちがその学舎から巣立って欲しいと思わずにはいられません。

そこで「シッダルタ支援プロジェクト」を再開し、募集目標を当初 3 年間で 260 万円から 2 年間で 220 万円 (円高などによる建設コストを換算し直した結果、それでも 3 教室は建設できると判断しました。) へ引き下げると共に平成 24 年中の校舎完成を目標とした第二期募集活動を開始することとなりました。

校舎完成まではあと 100 万円。会員のみなさま、そして会員のみなさまを通じて 1 人でも多くの方々のご理解とご協力を賜りながら、ぜひシッダルタ小中校の子供たちのためにみんなの手で校舎を造りあげていきましょう！

【振込口座】
口座番号 00160 - 2 - 413918
口座名義 特定非営利活動法人 ネパール・ミカの会
郵便振替用紙の通信欄に「シッダルタ支援」と記載下さい

【シリ・シッダルタ小中校とは】
インドとの玄関口、バイラワの街からルンビニ公園に向かう街道沿いにシッダルタ小中校はあります。
生徒数は 437 名いますが、既存の 5 教室では足りず、隣接する村の集会場を教室がわりに使っています。街から近いため周辺にはまだ多くの未就学の子供たちがいますが、現状の教室数では新たな受け入れができません。

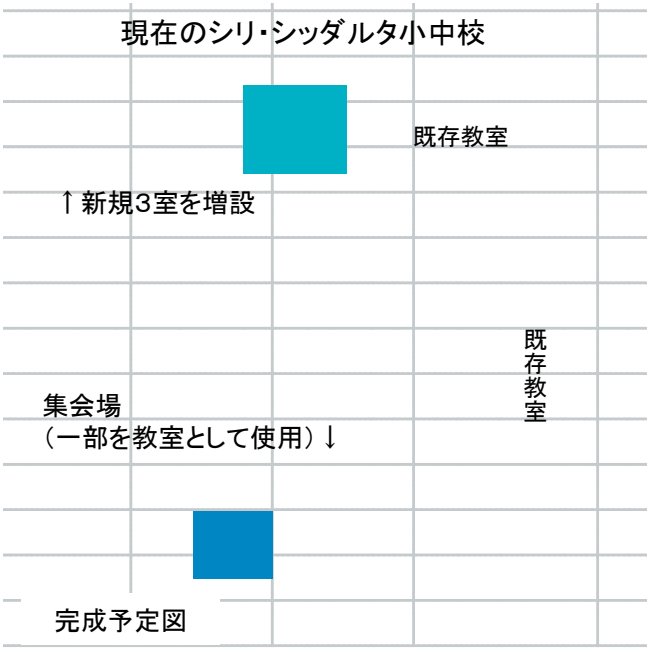
校長であるミラス氏は、村の子供たちの就学率と学力を向上させることで、子供たちが将来、街で立派に働けるようにしたいと熱心に語り、村の人々の協力を募って数年後には高校を作る計画を立てています。
そこでミカの会では「手から手へ」という理念のもと、地道な募金活動によって、シッダルタ小中校の就学率向上のために新たに 3 教室を増設支援します。

【正式学校名】
「シリ・シッダルタ バール ニケタン　ケダル バンデ 小中校」

【生徒総数】
男子 187 名 女子 250 名 合計 437 名
(2009 年現在)
【増設目標】
既存教 5 教室に 3 教室を増設します。

【総工費】220 万円 (事業運営費を含む)

【現況】
第一期工事完了によって校舎基礎が完成済。
残り 3 教室を第二期工事によって完成させていきたいと思います。



[ラマさんと行く箱根懇親旅行]

加藤　誠一

創立 15 周年記念式典の翌日ラマさん、友人のデイパックさんを含め総勢 14 名で紅葉の箱根を楽しんで参りました。

記念式典の豪雨もどこえやら好天に恵まれロマンスカーで快適に箱根湯本箱根湯本へ。当たり前と言えば当たり前ですが紅葉シーズンの日曜日で箱根登山鉄道はラッシュアワー並みの混雑です。大混雑の中でデイパックさんに箱根の事や登山電車の事を説明する。段々日本語を思い出しているようだ。

強羅でバスの乗り換え，最初の目的地であるラッディック美術館に到着。紅葉と素晴らしいグリーンを見ながらのランチは優雅そのものでした。

食後、散歩を兼ねて曹洞宗長安寺の五百羅漢像と紅葉を見に歩きます。10 分もかからずに山門に。素晴らしい紅葉の出迎えにラマさん、デイパックさん思わず感嘆の声。五百羅漢像の表情の豊かさも素晴らしいの一言でした。

強羅に戻り登山電車、ロープウェイを乗り継ぎます。途中大湧谷で小休止すると、外国人には温泉タマゴは珍しいようで美味しそうにほおばっていました。
夕日に輝く芦ノ湖と富士山を見ながら宿泊の湖尻に到着です。

温泉に入浴後は和食です。ラマさん、デイパックさん全く好き嫌いも無く日本食を堪能していました。
美味しいの一言で今回ホテルを利用していた抱いたので、ほっと一息です。周囲には娯楽施設も何も無いので温泉に入るしか？ありません。
朝、九頭竜神社に参拝に向かったのですが残念ながら時間前で境内に入ることが出来ませんでした

晴れ渡った空の下海賊船で元箱根、ロープウェイで元宮神社まで上がり箱根を楽しんでもらいました。こうした海賊船のようなものはネパールは勿論の事，オーストラリアも見かけないとの事でした。山頂の寒さに耐えきれず早々に下山する。

元箱根に戻るとにわか雨が降って来ました。もう帰路に着く時間です。ターンパイク経由のターンパイク経由のバスで箱根湯本に戻ります。ここで解散です。お土産屋さんを探す人、直帰の人，そして私とラマさん、デイパックさんはまだまだ元気で小田原城見学です。個人的には半年で３回目の小田原城です。ロマンスカーで町田駅まで来て三人で「つな八」の天丼？で乾杯です。
お二人とも皆さんの気配りでとても楽しく過ごせたと感謝しておりました。中野理事と私の幹事でしたが楽しい時間を過ごして頂けたなら嬉しい限りです。

ルンビニー (釈尊の生誕地)

説話では、ルンビニーで誕生した釈尊は東西南北上下の六方それぞれに向かって、七歩あゆんで、背中に後光を背負い、大地に立って、右手を天に指し、左手を地に指して「天上天下唯我独尊 [てんじょうてんげゆいがどくそん]」と唱えたと伝えられています。ルンビニーは長らく、忘れられていましたが、1896 年にドイツの考古学者 A.A. フューラーによって、釈尊の生誕地を記念するアショーカ王 (紀元前 3 世紀) の石柱が発見され、以後、釈尊の生誕地であることが明らかになったのでした。そして、1997 年に「仏陀の生誕地ルンビニー」として、ユネスコ世界文化遺産に登録されました。現在は、マーヤー夫人聖堂が立てられ、世界中から多くの巡礼者が訪れています。

ブッダガヤー (成道の地)

ブッダガヤーは、釈尊が仏陀の悟りを開いた地として、四大聖地の中で最も尊い場所とされています。
釈尊は、人間の四つの苦しみ「生・老・病・死」の答えを求めて、29 歳のときにカピラヴァストゥを去り、出家の身となりました (四門出遊 [しもんしゅつゆう])。それから、6 年近い歳月の間、苦行を重ねますが、村娘からミルク粥の布施を受けた時に、苦行が悟りへ到る道でないことを自覚します。

苦行を捨て去った釈尊は、現在のブッダガヤーの、ナイランジャナー河辺のピパラの樹の下で禅定に打ち込み、マーラ (悪魔) の誘惑を退け、悟りを開きます (降魔成道 [ごうまじょうどう])。このとき、釈尊は、苦楽中道、四諦・八正道を悟ったと言われています。
ピパラの樹は、釈尊が悟りを得たゆかりの樹として、菩提樹と呼ばれるようになりました。

ブッダガヤーには、現在、52 メートルの高さの大塔が建立されています。13 世紀、イスラム軍団からの破壊を免れるため、仏教徒は大塔一円を土で覆いましたが、19 世紀末にイギリス人によって発掘されました。2002 年には「ブッダガヤーの大菩提寺」として、ユネスコの世界文化遺産に登録されました。

サールナート (初転法輪の地)

菩提樹の下で悟りを開いた釈尊は、自分が開いた深い悟りを世間の人々は決して理解できまいと考えていましたが、梵天 [ぼんてん](インド在来の最高神) より、人々に説法するよう懇願されます (梵天勧請 [ぼんてんかんじょう])。これによって釈尊は伝道を決意し、古来の修行地であるサールナートを目指して旅立ったのでした。
ブッダガヤーを出発して 7 日後、サールナートに到着した釈尊は、かつて苦行を共にした 5 人の修行者に会いに行きます。5 人の修行者は、苦行を捨て去った釈尊とは口をきくまいと申し合わせていましたが、釈尊が近づくにつれて、その神々しさと威厳に打たれ、「説法をしてください」と願い出ます。ここで、釈尊の初めての説法が行われたのでした (初転法輪 [しょてんぽうりん])。その 5 人は阿羅漢 [あらかん] となって最初の仏弟子となったのでした。

クシナガラ (入滅の地)

クシナガラの沙羅双樹 [さらそうじゅ] の下で、ついに涅槃 [ねはん] に入りました。その時、沙羅双樹は満開の花をつけ、白い花びらを降らせたと伝えられています。

「自灯明ということを忘れず、法を拠りどころとして生きていきなさい。すべての事象は過ぎ去るものである。怠ることなく修行を完成させよ。」という言葉が最後の教えとされています。

入滅後の釈尊は荼毘に付され、その灰はガンジス川に流されます。また、遺骨の一部は 8 つに分けられ、北インドの 8 箇所のストゥーパに祀られました。

現在のクシナガラは、釈尊入滅当時の末裔とされる沙羅双樹の近くに涅槃堂 [ねはんどう] が建てられ、その中には涅槃仏が安置されています。そして、釈尊を信仰する多くの巡礼者が訪れています。

事務局便り

新しい年が明けて、はや半月余りが過ぎました。会員の皆さま、どんなお正月を過ごされたでしょうか。今年は心安らかな一年であることを願いながら、活動を開始したいと思います。これから春にかけての参加イベントをお知らせします。
寒い時期ですが、ご協力よろしくお願いいたします。

1 月 29 日 (日) まちカフェ 町田市民フォーラム
4F 9:00~17:00
3 月 4 日 (日)~14 日 (水) 第 15 次教育支援の旅
3 月 31 日 (土) 中央公園さくら祭り
会場：旭町体育館周辺
4 月 7 日 (土)、8 日 (日) 相模原さくら祭り
会場：相模原市役所周辺
5 月 19 日 (土)2012 年度定期総会 町田市民ホール第 4 会議室
本年度の例会から開始時間が早くなります。
いままで毎月第 3 土曜の 3 時からでしたが、
1 時 30 分からになります。

【編集後記】

平成２４年がスタートしました。昨年の大災害が印象に強く謹賀新年と年賀状に入れなかった人も多いとか。原発事故の後遺症は全く見通しが立たず、、対策も遅々として進んでいないようです。体験の無い災害だけに影響は底知れない程深く、大きいようです。増税も声高に叫ばれています。超円高、超ユーロ高の嵐の中，日本はどうなってしまうのか本当に心配です。
第 15 次ネパール教育支援の旅が行われます。ルンビニでの大法要を予定しております。行く事が出来ない方はお気持ちで特別志納金にご協力をお願い致します。 S.K